便利な機能

歩数計を使う

Enjoy Exercise

日常歩行を計測する「WALK」と、エクササイズ目的の走行を計測する「RUN」の2つの計測機能があります。

- 「WALK」では以下の項目を計測できます。
  - 歩数（Steps）
  - きっちり歩数（Quick-WALK）※
  - 歩行距離（Distance）
  - 歩行時間（Time）
  - 消費カロリー（Calorie）
  - 脂肪燃焼量（Fat-Burning）

※ 毎分90歩以上のペースで約10分以上歩行したときの歩数です。

- 「RUN」では以下の項目を計測できます。
  - 走行距離（Distance）
  - 走行時間（Time）
  - ラップタイム（Lap Time）
  - 平均速度（Speed）
  - RUN歩数（Step）
  - 消費カロリー（Calorie）
  - 脂肪燃焼量（Fat-Burning）

■目標値達成通知機能

- WALK目標設定、RUN目標設定、ラップタイム設定を設定すると、目標値や設定距離に達したことを画面表示やバイブレータなどでお知らせします。
- 歩数計利用時には体調を考慮し、無理な目標設定などは行わないでください。

■測定について

- 一定のペースで歩行、走行していただくとより正確に歩数を計測できます。
- Enjoy Exerciseは、あらゆる方向の動きを検知し、精度の高い歩数測定を行いますが、歩きかたやバイブレータの動作（振動時には計測停止）などにより、誤差が生じる場合があります。また、歩行距離（走行距離）、消費カロリー、脂肪燃焼量は、入力した歩幅、体重をもとに計算しています。測定値はあくまでも目安としてご活用ください。
- 歩き始めや歩くペースを変えた場合、歩行を始めたかどうかを判断しているため（誤カウント防止）、表示が変わりません。目安として5秒程度（10歩以上）歩くとそこまでの歩数が一度に表示されます。
- 計測をストップしてもデータはリセットされません。再度スタートした場合、それまでのデータに加算されます。

■正確な測定を行うために

- 「時計設定」を行っていない場合、本機能は利用できません。
- ecoモード2中は本機能は利用できません。測定中にecoモード2にした場合、測定を中止します。
- 電源が入っていないときやソフトウェア更新中は計測を行いません。
- バイブレータ動作中は測定を中止します。
- カウントした歩数は約10分ごとに保存されます。FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されていない歩数が消失してしまう場合があります。
- キャリングケースL 01（別売）、キャリングケース02（別売）に入れるときは、キャリングケースを腰のベルトなどに装着してください。また、走行、歩行時はからだに密着するようにご使用ください。
- かばんやポーチ、各種ホルダーなどに入れるときは、ポケットや仕切りの中などに入れてください。
- 以下の場合は、歩数を正確にカウントしないことがあります。

  [FOMA端末が不規則に動くとき]
  - FOMA端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
  - FOMA端末を腰やかばんからぶら下げたとき

  [不規則な歩行や極端な歩行をしたとき]
  - すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
  - 混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
  - 極端にゆっくり歩いたとき

  [上下運動や振動の多い所で使用したとき]
  - 立ったり、座ったりしたとき
  - 歩行やランニング以外のスポーツを行ったとき
  - 階段や急斜面の昇り降りを行ったとき
  - 乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車中の上下振動または横揺れのとき
- 表示可能なデータの最大値は以下のとおりです。

  [WALK]
  - 歩数：999,999歩
  - きっちり歩数：999,999歩
  - 歩行距離：999,999m
  - 歩行時間：999時間59分59秒
  - 消費カロリー：9,999kcal
  - 脂肪燃焼量：9,999g

  [RUN]
  - 走行距離：99,999m
  - 走行時間：24時間00分00秒00
  - ラップタイム：279分56秒15
  - 平均速度：99.99km／h
  - RUN歩数：999,999歩
  - 消費カロリー：9,999kcal
  - 脂肪燃焼量：9,999g

  ※ モードなどにより単位が異なる場合があります。

歩数計利用時のご注意

- 歩数計の操作を行う場合は、安全な場所に立ち止まってください。操作中に事故を起こした場合であっても、当社は一切の責任を負いません。

●走行、歩行以外の目的では使用しないでください。また、走行、歩行時でも周囲の安全を確認してご使用ください。
●FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによって、歩数計のデータが消失してしまう場合があります。万が一、歩数計のデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

「WALK」で計測する

●計測を開始すると、ディスプレイに🚶が表示されます。Enjoy Exerciseの各画面を閉じたあとでも「歩数計／活動量計」をOFFにするまでは計測が継続されます。
●「WALK」の目標値達成通知（画面表示、バイブレータ）は、WALK画面表示中にのみ行われます。

1 MENU ▶「便利ツール」▶「Enjoy Exercise」

■ はじめて計測するとき
お買い上げ後、はじめてEnjoy Exerciseを利用する場合、歩数計／活動量計／利用者設定の確認画面が表示されます。内容を確認して ■ [OK] を押し、必要な項目を設定してください。
「基本情報を設定する」→P.392

Enjoy Exercise画面（サブメニュー→P.392）

2「SETTINGS」▶「歩数計／活動量計」▶「ON」

「背面ディスプレイ設定」の「時計種類」が「時計 5」以外に設定されている場合は、Enjoy Exercise対応の背面時計に変更するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 終了する場合
▶「OFF」
「背面ディスプレイ設定」の「時計種類」を「時計5」に設定している場合は、「時計種類」をお買い上げ時の状態に戻すかどうかの確認画面が表示されます。「YES」または「NO」を選択します。

おしらせ
◆「WALK」では省電力モード中に目標値を達成しても通知（省電力モードを解除しての画面表示、バイブレータ）は行われません。
◆WALK画面起動中は、「自動キーロック」を「ON」に設定中にFOMA端末を閉じても、自動キーロックがかかりません。

● 歩数計データを確認する

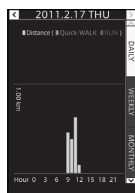
●「WALK」の歩数計データには、「RUN」での計測データが含まれて表示されます。また、表示される歩数は、きっちり歩数とRUN歩数を含めた歩数が表示されます。
●表示データは累計値です。

1 Enjoy Exercise画面（P.391）▶「WALK」

WALK画面（詳細）

[GRAPH] / [DATA]

WALK画面（グラフ）

■[一覧] / ■[選択]

Day	Steps	Quick-WALK
8	2,969	2,548
9	2,835	1,819
10	2,868	0
11	2,758	1,730
12	2,768	0
13	2,639	2,524
14	3,053	0
15	3,125	0
16	1,460	0
17	4,405	2,505

WALK画面（一覧）

上段左画面：サブメニュー→P.392
上段右画面：サブメニュー→P.392
下段左画面：サブメニュー→P.392

■ 詳細表示画面、グラフ表示画面のボタン操作
[上下]：1日表示／週間表示／月間表示
[左右]：前日／翌日、前週／翌週、前月／翌月
■：（グラフ表示画面のみ）歩数→歩行距離→消費カロリー

■ 一覧表示画面のボタン操作
[上下]：前日／翌日
[左右]：前月／翌月
[カメラ]：歩数・きっちり歩数→歩行距離・歩行時間→消費カロリー・脂肪燃焼量

■ 歩数計利用中にミュージックプレーヤーを起動する

▶[icon]［[icon]］

音楽データの再生→P.272

SP-VIEW画面やRUN画面でも利用できます。

■ 目標設定時の表示内容

「WALK目標」「RUN目標」を設定している場合、目標を達成した項目に「★」が表示されます。

■ 測定データの保存期間

- 測定データは、以下の期間、保存されます。
  時間別歩数データ：31日（本日分含めて32日）
  日別歩数データ：365日（本日分含めて366日）
- 保存期間が過ぎた場合、古いデータから削除されます。
- 日時を変更すると設定した日時より未来のデータと保存期間より前のデータは削除されます。

● SP-VIEWで目標達成状況を表示する

1 Enjoy Exercise画面（P.391）▶「SP-VIEW」

「歩行距離」と「消費カロリー」の表示の切り替え

SP-VIEW画面

サブメニュー

❖Enjoy Exercise画面（P.391）

全データリセット…すべての表示データをゼロに戻します。端末暗証番号の入力が必要です。

デスクトップ貼付…P.121

サブメニュー

❖WALK画面（P.391）

歩数計／活動量計、WALK目標設定…P.393

本日データリセット…WALK画面の本日の表示データをゼロに戻します。

「RUN」で計測する

●「RUN」の目標値達成通知、ラップタイム通知は、ほかの機能を使用していても行われます。ただし音声電話・テレビ電話の着信中、通話中は通知されません。

1 Enjoy Exercise画面（P.391）▶「RUN」

RUN画面（サブメニュー→P.392）

2 [■]［START］▶走る▶[■]［STOP］

「RUN」では、[icon]［[icon]］を押すと、START／STOP操作が行えます。

■ 終了する場合

▶[icon]［END］▶「YES」

おしらせ

◆RUN画面起動中は、「自動キーロック」を「ON」に設定中にFOMA端末を閉じても、自動キーロックがかかりません。

サブメニュー

❖RUN画面（P.392）

表示カウンターリセット…RUN画面の表示データをゼロに戻します。

RUN目標設定…P.393

ラップタイム設定…測定する距離を設定し、ラップタイムを計測します。

▶「ON」▶[icon]で距離を設定し[■]［確定］

ラップタイムを設定しない場合は「OFF」を選択します。

基本情報を設定する

計測を開始／終了する「歩数計／活動量計」のほか、データ計測の精度を向上させるため、身長、体重、歩幅などの利用者設定を行います。

●「歩数計／活動量計」のON状態は、電源を切っても維持されます。ただし測定は行われません。

1 Enjoy Exercise画面（P.391）▶「SETTINGS」▶以下の項目を設定

歩数計／活動量計…歩数計計測（WALK）を開始（ON）または終了（OFF）します。

身長／体重…端末暗証番号入力後、「身長、体重」を入力します。

WALK歩幅、RUN歩幅…歩くとき（WALK）の歩幅や、走るとき（RUN）の歩幅を入力します。

■ キャリブレーション機能を利用する

あらかじめ距離がわかっている区間を実際に歩いたり走ったりして、歩幅を設定します。

- 「歩数計／活動量計」が「ON」のときに利用できます。

▶「WALK歩幅入力画面」または「RUN歩幅入力画面」▶MENU［サブメニュー］▶「キャリブレーション」▶測定距離を入力▶カメラ［START］▶ 歩くまたは走る▶カメラ［STOP］（キャンセルする場合はメモ［CANCEL］）▶「YES」

- 測定中にバイブレータが振動すると、測定が中断されます。「YES」を選択し、カメラ［START］を押すと、再度測定できます。

WALK目標設定、RUN目標設定…「WALK」の目標値（歩数、歩行距離、消費カロリー）や、「RUN」の目標値（走行時間、走行距離、消費カロリー）を設定します。

モードセレクト…歩数計画面（Enjoy Exercise画面、WALK画面、RUN画面、SP-VIEW画面）のデザインを選択します。

マルチアクセス

マルチアクセス

マルチアクセスとは、複数の回線を同時に使用できる機能です。

- マルチアクセスの組み合わせについて→P.510
- 以下の3回線を同時に使用できます。

音声電話	1回線
ｉモード、ｉモードメール、パソコンをつないだパケット通信	1回線
SMS	1回線

おしらせ

◆マルチアクセス中は、それぞれの通信回線に通信料金がかかります。

通信中に着信があったとき

● 音声通話中のｉモードメール受信

音声通話中にｉモードメールを受信すると、音声通話中画面のままｉモードメールを受信します。受信したｉモードメールは音声電話を切らずに見ることができます。

1 MULTI▶「送受信」を選択

ｉモードメールの受信結果画面に切り替わります。

タスクの切り替えについてはP.394を参照してください。

2 ｉモードメールを確認

ｉモードメールの見かたについてはP.170を参照してください。

3 MULTI▶「音声通信」を選択

音声通話中画面に切り替わります。

● ｉモード中／パケット通信中の音声電話着信

ｉモードの接続中やメールの送受信中、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信中に音声電話がかかってくると、音声電話着信画面に切り替わり、ｉモードやパケット通信を終了しないで音声電話に出ることができます。

＜例：ｉモード中に音声電話を着信した場合＞

1 開始キー

音声通話中画面に切り替わり、通話ができます。

■ 音声電話に出ないでｉモード画面に戻る場合

▶MULTI▶「閲覧」を選択

相手にメッセージは流れず、呼び出し中になります。

2 通話が終了したら終話キー

通話が終了し、ｉモード画面に戻ります。

■ 音声通話中のままｉモード画面に戻る場合

▶MULTI▶「閲覧」を選択

通信中にほかの通信を使うとき

現在の通信を中断しないで、別の回線を使って同時に通信を行うことができます。
- マルチアクセス中に画面を切り替えるには、TASK MENU画面から表示したい機能を選択します。→P.394

● iモード中の音声電話発信

iモードの接続中やメールの送受信中に、iモードを終了しないで音声電話をかけられます。

1 iモード中▶MULTI（1秒以上）
待受画面が表示されます。

2 音声電話をかける
音声電話のかけかた→P.64

3 通話が終了したら［終話］
通話が終了し、iモード画面に戻ります。

■ 音声通話中のままiモード画面に戻る場合
▶MULTI▶「閲覧」を選択

マルチタスク

マルチタスク

マルチタスクとは、複数の機能を同時に使用できる機能です。
- マルチタスク中はTASK MENU画面（P.394）に使用中のタスク名が表示されます。複数のタスクを起動している場合、タスクを選択して操作するタスクを切り替えます。
- 音声通話中にほかの機能を同時に使っている間でも、通話中の電話の通話料金は発生します。

タスク（機能）の呼び出しかた

現在使用している機能を終了しないで、新しいタスク（機能）を起動します。

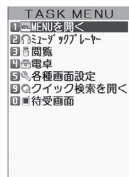
1 タスクを起動中▶MULTI
TASK MENU画面（P.394）が表示されます。

2 MENU［MENU］▶新たに起動するタスクを選択
起動中の機能が1つの場合は「」、複数の場合は「」が表示されます。

おしらせ
◆機能によっては、ほかのグループの機能として起動するものがあります。
◆以下の場合はメールの閲覧などをしながらメールを作成できるようになるため、タスクが1つ追加されます。
- メールメニューからの新規メール作成
- メールメニューからのSMS作成
- メールメニューからのデコメアニメ®作成
- デコメール®テンプレートを利用してデコメール®作成
- デコメアニメ®テンプレートを利用してデコメアニメ®作成
- 受信メールの返信／引用返信／転送
- 送信メールの再編集
- 保存メールの再編集

タスクの切り替えかた

複数のタスクが起動している場合、操作するタスクを切り替えたり、すべてのタスクを同時に終了することができます。

1 複数のタスクを起動中▶MULTI

TASK MENU画面

■ タスクを切り替える場合
▶切り替えるタスクを選択

■ メインメニューを表示する場合
▶MENU［MENU］

■ クイック検索を利用する
▶［クイック検索］
キーワード検索する→P.202

■ 待受画面を表示する場合
▶［待受画面］
※ タスク起動中にMULTI（1秒以上）を押すごとにTASK MENU画面を表示しないで起動中の機能を切り替えられます。

■ 起動中のいずれかのタスクを終了する場合
▶終了するタスクを反転▶［終話］▶「YES」

■ すべてのタスクを終了する場合
▶［END ALL］▶「YES」

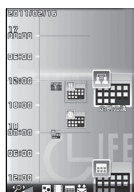
データを時系列に表示する

ライフヒストリービューア

過去に自分が保存した画像やメールの送受信履歴などを、日付や時間に沿って参照することができます。

●参照できるデータの種類は以下のとおりです。
- JPEG形式の静止画や画像
- 動画、ｉモーション
- スケジュール
- メールの送受信履歴

1 MENU ▶「便利ツール」▶「ライフヒストリービューア」

ライフヒストリービューア画面の見かた→P.395

ライフヒストリービューア画面（サブメニュー→P.395）

■ 時間軸を縮小／拡大する場合

▶ [縮小] ／ [拡大]

2 で画像やアイコンを選択

動画、ｉモーションを選択した場合はライフヒストリービューア拡大画面で再生されます。

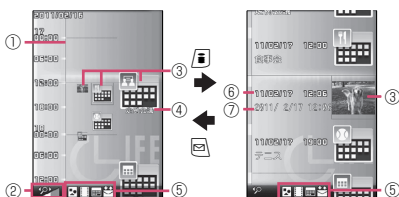
ライフヒストリービューア拡大画面（サブメニュー→P.395）

■ 動画／ｉモーションの音量調節をする場合

▶ または [マナー] ／ [☼]

3 [開く]

データの種類に対応した機能が起動し、データが表示されます。

ライフヒストリービューア画面の見かた

① 時間軸
② 時間軸状態表示
時間の間隔にあわせ、～～～
③ アイコン
静止画、画像：画像のサムネイル
動画、ｉモーション：動画のアイコン
スケジュール：スケジュールのアイコン
送受信メールの履歴：送受信メールの履歴のアイコン
④ データの情報
静止画、画像、動画、ｉモーション：表示なし
スケジュール：スケジュールの件名
送受信メールの履歴：受信メールの場合は送信元、送信メールの場合は送信先
⑤ 表示対象のデータの種類
: 静止画、画像
: 動画、ｉモーション
: スケジュール
／／: 受信／送信／送受信メールの履歴
⑥ 日時
静止画、画像、動画、ｉモーション：撮影日時／更新日時／保存日時
スケジュール：開始日時
送受信メールの履歴：送受信日時
⑦ タイトル
静止画、画像、動画、ｉモーション：タイトル
スケジュール：スケジュールの件名
送受信メールの履歴：受信メールの場合は送信元、送信メールの場合は送信先

サブメニュー

❖ライフヒストリービューア画面（P.395）

❖ライフヒストリービューア拡大画面（P.395）

拡大表示※…ライフヒストリービューア拡大画面を表示します。

開く…データの種類に対応した機能を起動し、データを表示します。

表示設定…ライフヒストリービューアで表示するかどうかを、データの種類ごとに設定します。
データの種類を選択時にサブメニューから「全選択、全解除、既定値に戻す」を選択することもできます。
デスクトップ貼付※…P.121
時間軸拡大、時間軸縮小※…表示される時間軸の範囲を拡大、縮小します。
再読み込み…表示情報を最新の状態に更新します。
※ ライフヒストリービューア拡大画面では利用できません。

自動で電源を入れる／切る

自動電源ON／OFF

決められた時刻に自動的に電源が入るように、または切れるように設定します。
- 自動電源OFFで設定した時刻になっても、ほかの機能を利用中は電源は切れません。また、アラームなどの通知やｉアプリの自動起動と自動電源OFFの設定時刻を同じ時刻に設定している場合も、電源は切れません。機能終了後に電源が切れます。
- FOMA端末の電源が切れていると、Music&Videoチャネルの番組取得や、ソフトウェアの予約更新、ワンセグの予約録画などは動作しませんのでご注意ください。

<例：自動で電源を入れる場合>

1 MENU ▶「本体設定」▶「時計」▶「自動電源ON」

■ 自動で電源を切る場合
▶「自動電源OFF」

2 「ON」▶時刻を入力▶「繰り返しなし」または「毎日繰り返し」を選択

■ 自動電源ON／OFFを解除する場合
▶「OFF」

おしらせ

◆高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」の設定を「OFF」に設定し、FOMA端末の電源を切ってください。

カメラボタンとクイックボタンのショートカット機能を変更する

ボタンカスタマイズ設定

待受画面表示中に[カメラ]または[QUICK]を押して呼び出す機能を変更します。
- 割り当てできる機能は、静止画撮影、動画撮影、スケジュール、ミュージック、ワンセグ、電卓、赤外線受信、バーコードリーダー、アラーム、辞典、Bluetooth、クイック検索、メディアスビューア、地図、Enjoy Exercise、使いかたガイド、ボイスレコーダー、Music & Videoチャネル、サイト表示、ｉアプリです。

1 MENU ▶「本体設定」▶「その他設定」▶「ボタンカスタマイズ設定」▶「カメラボタン設定」または「クイックボタン設定」

■ お買い上げ時の設定に戻す場合
ボタン設定画面でMENU［サブメニュー］を押し、「カメラボタン初期化」または「クイックボタン初期化」を選択します。

2 割り当てる機能を選択▶「YES」

メインメニューを並び替える

ユーザカスタマイズに対応しているメニューを、自分で並び替えます。中項目のメニューを配置することもできます。
- お買い上げ時に登録されているメニューで並び替えをできるのは、きせかえツールの「拡大メニュー」です。

<第一階層のメニューを並び替える場合>

1 並び替え可能なメニューを表示中▶新たに配置する位置を反転▶MENU［サブメニュー］▶「入替え機能」▶メニューを選択

2 「並び替える」▶「OK」

■ 第二階層以下のメニューを選択する場合
「項目から選択」を選び、並び替えたいメニューを選択し、「並び替える」を選択します。

おしらせ

◆きせかえツールの「拡大メニュー」を設定している場合は、メインメニューから「お気に入り」を選択してから操作1を行います。
◆MENU［サブメニュー］を押して「基本構造メニュー呼出」を選択すると、「スタンダード」を一時的に表示します（設定はされません）。

● 画面／音設定、メニュー画面、メニューの操作履歴をリセットする

1 メインメニュー▶MENU［サブメニュー］▶「リセット機能」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

画面／音設定初期化※1…一括設定できる項目（P.123）をお買い上げ時の状態に戻します。

メニュー画面リセット※2…メニューをお買い上げ時の状態に戻します。

※ 文字サイズはリセットされません。

メニュー操作履歴リセット…メニューの操作履歴をリセットします。

※1 設定した項目のうち、一部お買い上げ時の状態に戻らない項目があります。

※2 待受画面で9を一秒以上押した場合にも「メニュー画面リセット」を行います。

アラーム機能を利用する

アラーム

指定した時刻にアラームをならします。

●アラームは10件まで登録できます。

1 MENU▶「便利ツール」▶「アラーム」

アラーム一覧画面（サブメニュー→P.398）

■ 前回の設定内容のままON、OFFを切り替える場合

▶設定項目を反転▶i［ON／OFF］
iを押すたびに「ON、OFF」が切り替わります。

■ 前回の設定内容を確認する場合

▶設定項目を選択

アラーム詳細画面（サブメニュー→P.398）

2 アラームを選択▶［編集］

3 以下の項目から選択

タイトル編集…タイトルを編集します。

時刻入力…アラームを鳴らす時刻を入力します。

繰り返し…アラームの繰り返しを「設定なし、毎日（D）、曜日指定（W）」から選択します。

アラーム音選択…アラーム音を時刻アラーム音やメロディ、iモーション、ミュージックなどのフォルダから選択します。

アラーム音量…でアラーム音量を設定します。

イルミネーション選択…着信イルミネーションの点滅色を設定します。

パターン設定…着信イルミネーションの点滅パターンを設定します。

スヌーズ通知…スヌーズ（繰り返し）で通知するかしないかを設定します。

- **スヌーズ通知する**…鳴動回数（01～10回）と鳴動間隔（01～10分）を入力します。アラーム音（約1分間）が設定した鳴動間隔で、設定した鳴動回数分繰り返し鳴ります。
- **スヌーズ通知しない**…鳴動時間（01～10分）を入力します。アラーム音が設定した時間で鳴り続けます。

自動電源ON…アラーム時刻に自動で電源を入れるか入れないかを設定します。

4 ［完了］

おしらせ

◆PIN1コード入力設定がONとなっているときに、自動的に電源を入れてアラームを通知すると、サイトからダウンロードしたメロディやiモーション、ミュージックがアラーム音に設定されていても「時刻アラーム音」で鳴ります。
◆高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」の設定を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源を切ってください。

サブメニュー

❖アラーム一覧画面（P.397）

❖アラーム詳細画面（P.397）

編集…P.397
詳細表示※…アラームの内容を表示します。
完了（1件ON）…アラームを有効にします。
1件OFF…アラームを1件無効にします。
全件OFF…設定されているアラームをすべて無効にします。
※ アラーム一覧画面でのみ利用できます。

スケジュールを管理する

スケジュール

スケジュールでアラーム・リマインド設定を登録しておくと、設定した日時にアラーム音が鳴り、アラームメッセージとアニメーションで登録した内容をお知らせします。また、休日や誕生日も登録できます。誕生日は、電話帳に設定したデータを自動的に登録します。登録したｉスケジュールは、スポーツの試合日程やお気に入りアーティストのイベント情報などを自分のスケジュールにダウンロードでき、新しい情報を自動的に更新するサービスです。
ｉスケジュールはケータイデータお預かりサービスと連動して、情報が自動更新されます。→P.143

■スケジュールとしてカレンダーに表示されるデータ

データ	内容
ｉスケジュール	サイトからダウンロードしたｉスケジュールを表示します。
スケジュール	ユーザが登録したスケジュールや休日を表示します。
誕生日	電話帳から登録した誕生日データを表示します。
週間天気予報	受信した天気予報（当日から8日分）を表示します。

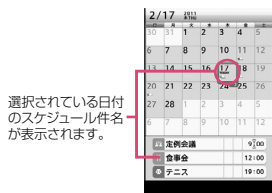
おしらせ

◆ｉスケジュールのダウンロードや週間天気予報を受信するには、ｉコンシェルサービス契約（P.226）が必要です。

スケジュールを登録する

定例会議などの定期的なスケジュールを毎週決まった曜日に登録したり、スケジュールの内容にあわせたアラーム音やアニメーションを設定するなど、いろいろな方法で登録できます。

- 2000年1月1日から2037年12月31日まで表示・登録できます。
- ▲［マナー］、▼［☼］で月を切り替えることができます。
- スケジュールはメモやフォトメモなど他機能から作成されるものを含め、最大2,500件作成することができます（添付ファイルなどのデータ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。また、1日に複数のスケジュールを登録することもできます。
- スケジュールのアラーム通知について→P.402

1 MENU▶「便利ツール」▶「スケジュール」▶日付を選択

スケジュール画面（サブメニューP.400）

2 MENU［サブメニュー］▶「新規登録」

3 スケジュールの内容を入力

スケジュールの登録項目はメモと同じです。スケジュールの登録項目については、P.415をご覧ください。

4 📷［完了］

おしらせ

◆「いつ？」で設定した「開始日時」より遅い日時に「アラーム・リマインド設定」のアラーム通知を設定した場合、アラームは「開始日時」と同じ日付・時刻に設定されます。

◆アラーム通知をするタイミングが重なった場合の優先順位は以下のとおりです。

① 「いつ？」で時刻設定なしのスケジュール
② 「いつ？」で時刻設定ありのスケジュールの開始時刻
③ 「いつ？」で時刻設定なしのｉスケジュール
④ 「いつ？」で時刻設定ありのｉスケジュールの開始時刻

◆開始日時で設定した日付の曜日と、毎週繰り返しで指定した曜日が違う場合は、毎週繰り返しの曜日が優先され、スケジュールは開始日時以降の最初の曜日に登録されます。

祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号までのもの）」に基づいています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります（2010年12月現在）。

休日を登録する

- 休日は100件まで登録できます。お買い上げ時に登録されている国民の祝日は休日の登録件数に含まれません。
- 休日は1日に1件のみ登録できます。

1 スケジュール画面（P.398）▶ MENU ［サブメニュー］▶「休日設定」▶「新規登録」

■ 登録した休日を削除する場合
▶「休日リセット」

2 以下の項目から選択

年月日設定…休日を登録する年月日を入力します。

繰り返し…休日の繰り返しを「設定なし、毎年（Y）」から選択します。

休日編集…休日の内容を入力します。

3 📷［完了］

スケジュール・休日・誕生日を確認する

登録したスケジュール・休日・誕生日の内容を確認します。

1 スケジュール画面（P.398）▶スケジュール・休日・誕生日が登録されている日付を選択

一覧表示では選択した日付の登録内容や設定内容が表示されます。
で表示する日付を切り替えることができます。

登録したスケジュール／祝日／休日／誕生日／iスケジュールを表示（iスケジュールは左端の帯をオレンジ色で区別）

スケジュール一覧画面（サブメニュー→P.400）

2 項目を選択

スケジュールの登録内容に電話番号、URL、メールアドレスが含まれている場合、Phone To・Web To・MailTo機能を利用できます。

誕生日詳細画面

スケジュール詳細画面

休日詳細画面

下段左画面：サブメニュー→P.400
下段右画面：サブメニュー→P.400

● スケジュールをタイムラインで表示する

スケジュールの表示方法を切り替えて、一日または一週間ごとの予定をタイムラインで表示することができます。

1 スケジュール画面（P.398）▶MENU［サブメニュー］▶「表示切替」▶「週タイムライン」または「日タイムライン」を選択

■表示形式について

月…1ヶ月単位のカレンダー形式

週タイムライン…1週間を時間軸で表示する形式

日…1日単位のカレンダー形式

日タイムライン…1日を時間軸で表示する形式

おしらせ

◆MENU［サブメニュー］▶「基本表示設定」でスケジュールを開いたときに表示される画面を設定することができます。

● 電話帳に誕生日を登録すると

誕生日は、本体電話帳で入力します。→P.91

入力された誕生日は自動で登録され、スケジュール画面に表示されます。

- 誕生日詳細画面（P.399）から、電話をかけたり、メールを送信できます。
- スケジュール画面からは、誕生日の編集や削除はできません。

おしらせ

◆誕生日は、待受画面の［誕生日］からも確認することができます。［誕生日］を選択すると、誕生日の詳細画面が表示されます。同じ日に複数の誕生日が登録されている場合は、スケジュール一覧画面などで一番上に表示されている誕生日の詳細画面が表示されます。

◆「プロフィール」に登録されている誕生日は、登録できません。

サブメニュー

❖スケジュール画面（P.398）
❖スケジュール一覧画面（P.399）
❖スケジュール詳細画面（P.399）
❖休日詳細画面（P.399）
❖ｉスケジュール内予定一覧画面（P.401）

新規登録…P.398

シールを貼る…メモ一覧画面、スケジュール一覧画面で表示するシールを登録したメモを作成します。→P.415

編集…選択した日付のスケジュールの登録内容や設定内容を編集します。

コピー…選択したスケジュール・休日をコピーし、編集します。

メモ一覧表示…メモ一覧画面を表示します。→P.416

ｉコンシェルメニュー表示…P.226

お預かりセンターに接続…P.144

ｉスケジュール一覧…ｉスケジュール一覧画面を表示します。→P.401

シールを選ぶ…シールが登録されているメモが2件以上ある場合に、スケジュール上で表示するシールを選択します。

クイック検索…P.202

シール表示設定…メモに設定されたシールを表示するかを選択します。

画像保存…メモに添付されているシールおよび、静止画をデータBOXへ保存します。

基本表示設定…スケジュール画面を開いたときのスケジュール一覧の表示方法を変更します。→P.400

表示切替…スケジュール画面の表示方法を選択します。→P.400

表示条件設定…共有する相手の名前やアイコン、文字色などを指定し、条件に合うものを表示します。

表示条件解除…条件の指定をやめて、全てのスケジュールを表示します。

シークレット解除…P.131

メール作成…登録したスケジュールの内容（開始年月日・時間・詳細）を本文にしたｉモードメールを作成します。→P.150

メール添付…スケジュールを添付したメールを作成します。

デスクトップ貼付…デスクトップに貼り付けると、デスクトップから選択したときに、スケジュール画面が表示されます。→P.121

登録件数確認…スケジュールと休日の登録件数を確認します。電話帳に登録した誕生日の登録件数は確認できません。

ｉC送信、ｉC全送信…P.379

赤外線送信、赤外線全送信…P.378

Bluetooth送信、Bluetooth全送信…P.380

microSDへコピー…P.366

休日設定…P.399

削除…「1件削除、選択削除、全削除、前日まで削除、期限削除」から選択します。

- 「前日まで削除」を選択すると、スケジュール画面でカーソルのある日付より前の項目がすべて削除されます。
- 「全削除、前日まで削除」では、「メモ、休日、すべて」の項目を選択する操作があります。
- 「期限削除」を選択すると、選択した期間より前のスケジュールが全て削除されます。

※ 画面によっては表示されない機能があります。

おしらせ

◆「全削除」の「休日」や「すべて」を選択したときは、祝日はお買い上げ時の状態に戻ります。

◆ｉスケジュールの削除はできません。

<メール添付>

◆ｉスケジュールのデータをメール添付すると通常のスケジュールのデータとして添付されます。

ｉスケジュールを利用する

サイトからダウンロードしたｉスケジュールや、自動受信した週間天気予報のインフォメーションなどは、通常のスケジュールや休日とともに、スケジュール画面に表示されます。

- スケジュールデータ、ｉスケジュールのダウンロード→P.211
- ｉコンシェルについてはP.226を参照してください。

● ｉスケジュールだけを表示する

ｉスケジュールは、ｉスケジュール一覧画面でまとめて表示することができます。

1 スケジュール画面（P.398）▶ [カメラキー] [ｉスケジュール]

■ ｉモードでｉスケジュールを検索する場合

▶「ｉスケジュールリストへ」▶「YES」

ｉスケジュール一覧画面

ｉスケジュール詳細画面

左画面（サブメニュー→P.402）
右画面（サブメニュー→P.402）

■ 詳細画面で確認する場合

▶ ｉスケジュールを選択

ｉスケジュール詳細画面で [メニューキー]［一覧］を押すと、選択したｉスケジュール内の予定を閲覧することができます。

ｉスケジュール内予定一覧画面（サブメニュー→P.400）

おしらせ

◆ｉスケジュールが1件も登録されていない場合、ｉスケジュールの説明を表示します。

◆ｉスケジュールの個々のデータを編集すると、元のデータはそのまま残り、通常のスケジュールデータが新規に1件登録されます。

● 天気予報を確認する

ｉコンシェルのインフォメーションによって自動で受信した週間天気予報は、スケジュール画面で確認します。

●週間天気予報のデータを受信しても、着信動作やｉコンシェル画面表示は行わず自動更新されます。

1 インフォメーションを自動受信

2 スケジュール画面（P.398）で日付を選択

スケジュール一覧画面（P.399）にその日の天気予報が表示されます。

サブメニュー

❖ ｉスケジュール一覧画面（P.401）

❖ ｉスケジュール詳細画面（P.401）

クイック検索※…P.202

デスクトップ貼付…P.121

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※ ｉスケジュール詳細画面でのみ利用できる機能です。

おしらせ

＜削除＞

◆ｉスケジュールを削除すると、ｉスケジュールの個々のデータも削除されます。

アラーム通知のしかたを設定する

アラーム通知設定

「アラーム」「スケジュール」「ワンセグ視聴予約」でアラームを通知するとき、「操作優先」にするか「通知優先」にするかを設定します。

●「ワンセグ録画予約」は本機能の設定にかかわらず、アラーム通知を行います。

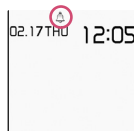
1 MENU▶「本体設定」▶「その他設定」▶「アラーム通知設定」▶「操作優先」または「通知優先」

「操作優先」に設定した場合、待受画面表示中のときのみアラームを通知します。

「通知優先」に設定した場合、FOMA端末を操作しているときや通話中でもアラームを通知します。

アラーム通知の動作

● アラーム通知を設定すると

「アラーム」「スケジュール」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」でアラーム通知を設定すると、待受画面にアイコンが表示されます。

■待受画面のアイコン表示

🔔：設定あり

🔔：通知当日の通知時刻前

● 設定した時刻になると

各機能ごとに別表１（P.403）のような動作でアラームを通知します。

- アラーム通知時に表示されるアニメーションは、設定したアイコンやカテゴリによって変わります。ただし、アラーム音にｉモーションを設定すると、その映像や音声でアラーム通知を行います。

■[別表 1] アラーム通知動作

状態	アラーム	スケジュール・ワンセグ視聴予約／録画予約
待受画面表示中 ｉモード中※1 メール送受信中※1	アラームを設定したときの動作でアラームを通知します。ディスプレイには通知アニメーションが表示されます。	アラーム音が約５分間繰り返し鳴ります。ディスプレイには通知アニメーションが表示されます。※2 録画予約の場合、開始日時の約１分前にアラーム音が約２秒間鳴り、通知画面表示後、ワンセグが起動し、録画が開始されます。
電源OFF時	「自動電源ON」の設定に従います。「電源ONしない」に設定している場合は、電源を入れたあともデスクトップアイコンは表示されません。	アラームを通知しません。設定はそのまま残ります。 録画予約の場合、開始日時の約１分前に電源がONになっていないと録画されません。電源をONにしたあともデスクトップアイコンは表示されません。 視聴予約の場合、「自動電源ON」の設定に従います。「OFF」に設定している場合は、電源を入れたあともデスクトップアイコンは表示されません。
通話中※1	受話口からアラーム音が鳴ります。ディスプレイには通知アニメーションが表示されます。	
イヤホンマイク（別売）接続中	「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。アラーム音は「イヤホン切替設定」の設定に従ってイヤホンおよびスピーカから鳴ります。	
ダイヤルロック／おまかせロック設定中	アラームを通知しません。録画予約の場合、開始日時の約１分前に各ロックが解除されていないと録画されません。 各ロックの解除後にデスクトップアイコンでお知らせします。	
オリジナルロック設定中	アラーム／スケジュールのアラームは通知しません。デスクトップアイコンは表示されます。 ワンセグ視聴予約／録画予約のアラームは通知します。	

※1「通知優先」に設定している場合の動作です。「操作優先」に設定している場合は、待受画面に「(🔔)アラーム（未通知アラームあり）」「アラーム（未視聴予約あり）」のデスクトップアイコンが表示されます。

※2 待受画面表示中のスケジュール通知の場合、ｉコンシェルにご契約されていて待受画面にマチキャラを設定していると通知アニメーションやｉモーションは表示されず、マチキャラが通知時刻であることをお知らせします。

おしらせ

- ◆「スケジュール」のアラーム音の音量は、「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。
- ◆通話中のアラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
- ◆通話中のアラームでのアラーム通知では、「スヌーズ通知する」に設定していても、スヌーズで通知は行いません。
- ◆「アラーム音選択」でｉモーションを設定しても、通話中などｉモーションを起動できないときは、アラーム音とアニメーションでアラーム通知を行います。

◆自動マナーモードを起動／解除する時間を「アラーム」「スケジュール」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」の設定した時間と同じ時間に設定すると、マナーモードを起動／解除してからアラーム通知されます。

＜アラーム通知の優先順位＞

◆「アラーム」「スケジュール」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラーム通知が同じ時刻に設定されている場合、優先順位は以下のとおりです。
①アラーム　②ワンセグ録画予約　③スケジュール　④ワンセグ視聴予約
アラーム通知できなかった場合は、待受画面に「アラーム（未通知アラームあり）」「アラーム（未視聴予約あり）」「終了（予約録画終了あり）」のデスクトップアイコンを表示してお知らせします。→P.405

● アラーム音を止めるには

■アラームのアラーム音

「スヌーズ通知しない」の場合
いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／iモーションは停止します。もう一度いずれかのボタンを押すと、「ピピッ」という解除音が鳴り、表示を消すことができます。
「スヌーズ通知する」の場合
いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／iモーションは停止し、アラームメッセージは「スヌーズ中・・・」と表示され、設定した鳴動間隔（分）で再度アラームを通知します。「スヌーズ中・・・」に[━]を押すと、「ピピッ」という解除音が鳴りスヌーズが解除されます。

■その他のアラーム音

いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／iモーションは停止し、アラームメッセージは表示されたままになります。もう一度いずれかのボタンを押すと、アラームメッセージは消えます（ワンセグ視聴予約では「連携起動設定」が「連携しない」のとき）。
iコンシェルを契約していてマチキャラがONの場合、待受画面でスケジュールのアラームが鳴動したときは、いずれかのボタンを押すと鳴動は停止し、そのまま操作が可能になります（アラームメッセージ画面は待受のみ表示されません）。

■アラーム通知中に電話がかかってきた場合

アラーム通知を停止して着信の動作になります。「アラーム」のスヌーズも解除されます。

通知できなかったアラームの内容を確認する

アラームを通知できなかった場合は、待受画面に「[アラーム]（未通知アラームあり）」「[アラーム]（未視聴予約あり）」「[REC 終了]（予約録画終了あり）」のデスクトップアイコンが表示されます。デスクトップアイコンから通知できなかったアラームの内容（未通知アラーム情報）を確認します。

1 待受画面表示中▶[■]▶「[アラーム]（未通知アラームあり）」または「[アラーム]（未視聴予約あり）」、「[REC 終了]（予約録画終了あり）」を選択

未通知アラーム情報が表示されます。

■ デスクトップアイコンを消す場合

▶[CLR]（1秒以上）
デスクトップアイコンを消すと、未通知アラーム情報は確認できなくなります。

2 内容を確認

[CLR]を押すと待受画面に戻り、デスクトップアイコンは消えます。

アラーム内容を読み上げる

FOMA端末を閉じているときにアラーム通知があった場合、アラーム通知中に[▼][☼]を押すと、アラームを停止し、アラーム内容を読み上げます。

- 「不在／新着確認設定」を「ボイス」に設定している場合のみ読み上げを行います。
- 読み上げる際には、音声が周囲にもれますので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してください。
- 読み上げの音量は「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。「ステップ」に設定している場合は「レベル2」の音量になります。
- 「Select language」を「English」に設定中は、読み上げは行われません。

1 アラーム通知中に[▼][☼]

読み上げを開始します。読み上げる内容は以下のとおりです。

アラームの種類	読み上げる内容
アラーム	現在時刻
スケジュール	登録したスケジュールの件名の全角20文字分

おしらせ

◆読み上げ中に再度[▼][☼]を押すと、読み上げを中止します。
◆シークレットデータとして登録したスケジュールは読み上げません（「シークレットモード」「シークレット専用モード」の場合を除く）。

セキュリティフォルダを利用する

「定型文」のセキュリティフォルダにサイトなどのパスワードをあらかじめ登録しておき、サイトでのパスワード入力時に利用できます。
- 定型文を登録する→P.436

<例：セキュリティフォルダの定型文からパスワードを入力する場合>

1 サイトを表示する

2 ユーザ名などを入力する

3 パスワード入力画面を表示する

4 MENU［サブメニュー］▶「データ引用／入力」▶「定型文」▶「セキュリティフォルダ」▶端末暗証番号を入力▶タイトルを選択

登録されている定型文が入力されます。

自分の名前や画像を登録する

プロフィール

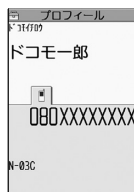
名前や自宅の電話番号、メールアドレスなど、お客様の個人情報を登録します。個人情報を登録しておくと、FOMA端末の所有者を確認したり、文字入力（編集）画面で登録されている内容を引用できます。

- 自局番号、機種型番を変更したり削除することはできません。
- 自局番号、機種型番以外は登録したデータがFOMA端末に記憶されます。ほかのドコモUIMカードを差し込んでも、FOMA端末に登録したデータは変更なく表示されます。

プロフィールを表示する

本機能を起動したときは名前、自局番号、1件目のメールアドレスのみ表示できます。

1 MENU▶「プロフィール」

- MENU▶0でも確認できます。
- 自宅の電話番号や住所などの個人データを登録している場合は、サブメニューから「全データ表示」を選択して端末暗証番号を入力すると、すべてのデータを表示できます。

プロフィール画面（サブメニュー→P.406）

おしらせ

◆2in1のモードがデュアルモードの場合は、プロフィール画面で[]を押してAナンバーとBナンバーの情報を切り替えることができます。

◆2in1利用中にドコモUIMカードを入れ替える場合は、Bナンバーのプロフィールを初期化したあと、ドコモUIMカードを入れ替えてください。→P.406

サブメニュー

❖プロフィール画面（P.406）

プロフィール編集…P.407

全データ表示…[]で登録内容を確認します。

名前コピー…プロフィールに登録されている名前をコピーします。コピーした名前は、入力画面などで貼り付けることができます。→P.435

電話番号コピー※1…現在表示している電話番号をコピーします。コピーした電話番号は、入力画面などで貼り付けることができます。→P.435

メール添付※2…プロフィールのデータを添付したメールを作成します。

GPSアプリ一覧※3…地図・GPS機能に対応したｉアプリの一覧画面を表示します。

地図を見る※3…「地図選択」（P.317）で設定したGPS対応ｉアプリが起動します。※4

メール貼り付け※3…位置情報URLをｉモードメール本文に貼り付け、新規メールを作成します。

画像に付加※3…静止画に位置情報を付加します。

赤外線／ｉC送信…P.378、379

Bluetooth送信…P.380

microSDへコピー…P.366

拡大表示⇔標準表示…表示する名前の文字サイズを切り替えます。

2in1※5…Bナンバーの情報を取得し、Bナンバーのプロフィール画面に登録します。

プロフィール初期化…自局番号以外のプロフィールを初期化（削除）して、お買い上げ時の状態に戻します。

電話番号削除※6…自局番号以外の登録した電話番号を削除します。

※1 選択している項目によって機能名は「メールアドレスコピー、住所コピー、位置情報コピー、誕生日コピー、メモコピー」と表示されます。
※2 全データ表示中にのみ利用できます。
※3「全データ表示」表示中に、位置情報を反転しているときのみ利用できます。
※4 国際ローミング中の場合、「iモードサイト」「iアプリ」のどちらを利用するかを確認する画面が表示されます。
※5 2in1のBナンバーのプロフィール画面を表示しているときのみ利用できます。
※6 選択している項目によって機能名は「メールアドレス削除、住所削除、位置情報削除、誕生日削除、メモ削除、静止画削除」と表示されます。

プロフィールを登録する

1 プロフィール画面（P.406）▶ [編集] ▶ 端末暗証番号を入力

2 以下の項目から選択

名前入力／姓…お客様の名字を入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字などを入力できます。

フリガナ入力／姓…お客様の名字を入力すると自動的に設定されますので必要に応じて変更してください。半角のカタカナ、英字、数字、記号で入力できます。

名前入力／名…名字と同様、お客様の名前を入力します。

フリガナ入力／名…名字と同様、お客様の名前を入力すると自動的に設定されますので必要に応じて変更してください。

電話番号入力…自局番号以外の電話番号を追加登録してアイコンを選択します。電話番号は26桁まで入力できます。「<電話番号>」を選択すると電話番号を追加登録できます。

メールアドレス入力…メールアドレスを入力してアイコンを選択します。半角の英字、数字、記号で入力できます。

- **自動取得**…設定されているメールアドレスをiモードセンターから自動で取得できます（メールアドレスにシークレットコードを登録している場合、シークレットコードも自動で取得します）。すでに登録されている内容がある場合は表示されません。
- **直接入力**…メールアドレスを直接入力します。

「<メールアドレス>」を選択するとメールアドレスを追加登録できます。

住所入力…郵便番号以外の住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字などを入力できます。※

位置情報付加…位置情報を現在地を測位して登録するか、画像や位置履歴から登録します。登録済みの情報内容を確認する場合は「位置情報詳細」、削除する場合は「位置情報削除」を選択します。

誕生日入力…誕生日（西暦・月日）を入力します。

設定できる西暦は、1800年から2099年までです。

メモ入力…メモを入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字などを入力できます。

静止画登録…プロフィールで表示される静止画をカメラで撮影するか、またはマイピクチャから選択して設定します。「静止画解除」を選択すると、設定中の静止画を解除できます。

※「都道府県」「市町村、郡、区」「番地」「マンション名など」の4項目あわせて全角50文字、半角100文字までで入力してください。

3 [完了]

おしらせ

◆自分のメールアドレスを変更したりシークレットコードを登録した場合は、本機能のメールアドレスの登録内容も変更してください（自動的には変更されません）。

個人データ（プロフィール）を引用する

個人情報を登録しておくと、FOMA端末の所有者情報を確認したり、文字入力（編集）画面／ｉモードで登録されている内容を引用できます。
<例：ｉモードサイトで個人データを引用する>選択する項目はサイトによって異なります。

1 個人データを引用するサイトを表示▶「プロフィール引用」を選択▶端末暗証番号を入力

引用できる項目が一覧で表示されます。

■ 引用する項目を指定する場合
▶[十字キー]で引用しない項目のチェックを外す

■ 2in1のモードがデュアルモードの場合
▶「プロフィールA」または「プロフィールB」

2 [カメラキー][完了]

引用する項目が自動で入力されます。

おしらせ

◆住所情報を文字入力、ｉモードサイトで引用する場合、項目間に空白が入る場合があります。
◆プロフィールを引用した場合、自動で入力された項目以外のデータが引用されることはありません。

相手の声や自分の声を録音する

通話中音声メモ／音声メモ録音

音声メモには、音声通話中またはテレビ電話中に相手の声を録音できる「通話中音声メモ」と、待受画面表示中に自分の声を録音できる「音声メモ録音」の2種類があります。

- 録音できる件数は、通話中音声メモまたは音声メモ録音のどちらか1件で、録音するたびに上書きされます。
- 録音できる時間は約20秒です。
- 録音したメモの再生、消去について→P.84

通話中に相手の声を録音する

1 通話中▶[▼][☼]（1秒以上）

「ピッ」と鳴って録音がはじまります。録音時間（約20秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて通話中画面に戻ります。

■ 録音を途中でやめる場合
▶[■][停止]または[▼][☼]（1秒以上）

待受中に自分の声を録音する

1 [MENU]▶「電話機能」▶「伝言メモ／音声メモ」▶「音声メモ録音」▶「YES」▶音声メモを録音

「ピッ」と鳴ったら送話口に向かってお話しください。録音時間（約20秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて「伝言メモ／音声メモ」の一覧画面が表示されます。

■ 録音を途中でやめる場合
▶[■][停止]または[CLR]

おしらせ

◆録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。

<通話中音声メモ>
◆サブメニューの各項目の操作中、テレビ電話の保留中などは録音することはできません。
◆2in1のモードがAモードまたはBモードの場合は、利用していない電話番号の音声メモには「★」が表示されません。モードを変更するか、デュアルモードにすると再生できます。

通話中に相手の声を自動録音するように設定する

自動音声メモ

通話中の相手の声を自動で録音するように設定します。

- 自動録音できるのは音声電話のみで、通話の終わり部分約1分間が録音されます。
- 録音できる件数は2件で、古いものから順に上書きされます。
- 自動録音したメモの再生、消去について→P.84

1 MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「通話中詳細設定」▶「自動音声メモ」▶「ON」または「OFF」

■ 自動音声メモをONにした場合
待受画面にアイコンが表示されます。→P.30

おしらせ

◆以下の動作を行ったときは、それまでの録音内容がいったん消去され、通話を再開した時点で新たに録音が開始されます。
- 「アラーム」「スケジュール」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラームが通知されたとき
- 電話帳、リダイヤル、着信履歴を表示したとき
- テレビ電話に切り替えたとき
- 通話を保留にしたとき
- ボタン操作で通話中音声メモを動作させたとき
- マルチタスクでほかの機能に切り替えたとき
- 通話中に別の電話がかかってきたとき（通話を切り替えた場合は、最後の通話内容が録音されます）

◆伝言メモ動作中は録音されません。伝言メモから音声通話に移行した場合は、その時点で録音が開始されます。

◆2in1のモードがAモードまたはBモードの場合、利用していない電話番号の自動音声メモには「★」が表示されません。モードを変更するか、デュアルモードにすると再生できます。

アラーム音や応答保留音を録音／再生する

おしゃべり機能

音声を録音して、オリジナルの着信音や応答メッセージとして設定します。
- 録音できる音声は「おしゃべり1、2」の2件です。
- 録音できる時間は約15秒です。
- 「おしゃべり機能」が録音されている場合は、おしゃべり機能画面に「★」が表示されます。
- 本機能で録音した音声を設定できる機能は以下のとおりです。
  - 各種着信音（音声電話、テレビ電話、メール、メッセージR／F、ｉコンシェル、着信拒否設定、マルチナンバー、2in1設定の着信設定）
  - 各種アラーム通知音（アラーム、スケジュール、ワンセグ視聴予約、通話料金通知）
  - 応答保留音、通話中保留音
  - 応答メッセージ（伝言メモ）

1 MENU「便利ツール」▶「おしゃべり機能」

■ 再生する場合
▶「★」が付いている項目を選択

■ 消去する場合
▶MENU［サブメニュー］▶「消去」▶「YES」

2 項目を選択▶「YES」▶音声を録音

送話口に向かってお話しください。録音時間（約15秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「おしゃべり録音中」の表示が消えて元の画面に戻ります。

■ 録音を途中でやめる場合
▶■［停止］

おしらせ

◆録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。

ボイスレコーダーで録音する

ボイスレコーダー

ボイスレコーダーを使って、音声を録音します。録音したデータは、音声のみの動画として保存されます。

1 MENU▶「便利ツール」▶「ボイスレコーダー」

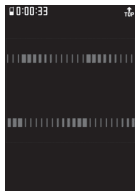
録音開始画面（サブメニュー→P.410）

2 ■［録音開始］

録音が開始されます。

■ 録音を一時中止する場合
▶📷［●/II］
録音を再開する場合は📷［●/II］を押します。

■ ファイルサイズで設定した容量になった場合
▶「OK」

3 ■［録音終了］

録音確認画面（サブメニュー→P.410）

4 ■［保存］

サブメニュー

❖録音開始画面（P.409）

7 ファイルサイズ

500KB…メールで送ることができるサイズで500Kバイトまで録音が可能です。

2MB…メールで送ることができるサイズで2Mバイトまで録音が可能です。

10MB…10Mバイトまで録音が可能です。

無制限…ファイルサイズを制限せずにmicroSDに保存します。一回の録音は最長2時間まで可能です。

8 その他

セルフタイマー…P.247

保存／画質…ファイルの保存について設定します。

- **自動保存**※…録音後「保存先」で設定した保存先に自動保存するかしないか（ON、OFF）を設定します。
- **保存先**※…録音後の音声のみの動画の保存先を設定します。
  microSDカードに保存する場合、「HDムービー／その他」内に保存されます。
- **画質／音質**…録音する動画の音質を「標準、最高品質」から選択します。
  「最高品質」は、音質は最も高くなりますが、録音時間は最も短くなります。
- **記録種別**…「音声のみ」に固定されます。
- **保存容量確認**…保存容量（目安）を確認します。

録音開始音選択…録音開始音を選択します。

その他機能…以下のカメラモードに切り替えます。

- **バーコードリーダー**…P.410
- **アートフォトモード**…P.243

※ ファイルサイズが「無制限」の場合は、操作／設定できません。

おしらせ

<録音開始音選択>

◆ダウンロードしたメロディを録音開始音に設定できません。また録音開始音の音量は変更できません。

サブメニュー

❖録音確認画面（P.410）

再生…録音した音声を再生します。

保存…録音した音声が「保存先」で設定されているフォルダに保存されます。

メール作成…録音した音声を添付したｉモードメールを作成します。→P.150、239

録音確認画面で✉［✉/Blog］を押しても音声を添付したｉモードメールの作成、ブログ投稿用のメールを作成することができます。また、録音した音声は「保存先」で設定されているフォルダに保存されます。

待受画面設定…録音確認画面では選択できません。

タイトル編集…タイトルを編集します。

保存先…P.236

ファイル制限…録音した音声を再配布できるかどうかを設定します。→P.335

取り消し…録音した音声を削除して録音開始画面に戻ります。

バーコードリーダーを利用する

バーコードリーダー

カメラを利用しJANコード、QRコード、CODE128を読み取ります。とくにQRコードの場合、読み取りデータからPhone To/AV Phone To、Mail To、Web To、ｉアプリTo、Bookmark登録、電話帳登録、文字表示、文字のコピーを行うことができます。また、画像やメロディ、トルカのデータを読み取り、再生や保存をすることもできます。

- 読み取りデータは5件まで登録できます。
- FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- バーコードを読み取るときは、カメラをバーコードから約10cm離してください。

■JANコード、QRコード、CODE128について

- JANコードとは
  太さや間隔の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）および13桁（JAN13）のバーコードを読み取ることができます。
  ※ 下記のJANコードをFOMA端末で読み取ると「4942857113068」と表示されます。

●QRコードとは
縦・横方向の模様で数字、英字、漢字、カナ、絵文字などの文字列を表現している二次元コードの1つです。また、画像やメロディ、トルカを扱っているQRコード、1つのデータが複数のQRコードに分かれているものもあります。
※ 下記のQRコードをFOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

●CODE128とは
太さや間隔の異なる縦の線（バー）で数字、英字、記号を表現しているバーコードです。
CODE128を読み取るには対応しているｉアプリをダウンロードする必要があります。→P.301

コードを読み取る

1 MENU ▶「便利ツール」▶「バーコードリーダー」

■ 機能をデスクトップに貼り付ける場合
▶MENU［サブメニュー］▶「デスクトップ貼付」

2 バーコードを認識範囲に表示

自動的に読み取りが開始されます。
認識範囲は画面の四隅に“┏、┓、┗、┛”で示されます。
ピントが合った状態で、バーコード全体が認識範囲の中にできるだけ大きく入るようにします。

読み取り画面

読み取りが完了すると読み取り完了音が鳴ります。
読み取りに時間がかかる場合があります。

■ 読み取りを中止する場合
▶■［中止］▶「OK」

■ ズームを調節する場合
：拡大されます。
：標準に戻ります。

■ ライトを点灯する場合
▶または［☼］
押すたびにON／OFFが切り替わります。
MENU［サブメニュー］▶「ライト」から「ON、OFF」を選ぶこともできます。

■ 複数のQRコードに分かれているデータを読み取る場合
▶「OK」▶■［読取］▶QRコードを認識範囲に表示
最大16枚に分割された複数のQRコードを読み取ることができます。

3 読み取ったデータを確認

■ 読み取ったデータを破棄する場合
▶CLR▶「YES」

4 MENU［サブメニュー］▶「登録」▶「YES」▶「OK」

読み取ったデータが保存されます。

おしらせ

◆JANコード、QRコード、CODE128 以外のバーコードは読み取れません。また、バーコードのサイズによっては、読み取れない場合があります。
◆傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては正しく認識できない場合があります。
◆マナーモード設定中は、読み取り完了音は鳴りません。
◆文字編集画面からバーコードリーダーを起動することができます。→P.434
このとき、読み取ったデータは文字編集画面に入力されます。
◆読み取った画像の画像サイズ、ファイルサイズによっては、保存できないことがあります。
◆読み取ったデータをmicroSDカードに登録することはできません。

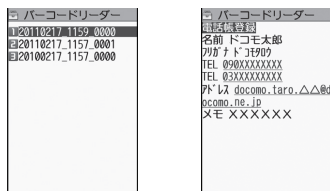
読み取りデータを利用する

●利用できる読み取りデータは、以下のとおりです。

項目	説明
電話帳登録	名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、誕生日、郵便番号、住所、メモを電話帳に一括登録→P.91
メール作成	宛先、題名、本文が一括入力されたｉモードメールを作成→P.150

項目	説明
Bookmark登録	URLとタイトル名をBookmarkに登録→P.204
ｉアプリ起動	指定されているｉアプリを起動→P.299
メロディのアイコン	そのメロディを再生→P.356
電話番号	「Phone To／AV Phone To機能」→P.214
トルカのアイコン	そのトルカを表示→P.310
メールアドレス	「Mail To機能」→P.214
URL	「Web To機能」→P.214
画像	その画像を登録→P.210

1 読み取り画面（P.411）▶MENU［サブメニュー］▶「読み取りデータ一覧」▶読み取りデータを選択▶表示されている項目を選択

■ 読み取りデータの一覧／詳細画面

読み取りデーター覧画面　読み取りデータ詳細画面

左画面：サブメニュー P.412
右画面：サブメニュー P.412

おしらせ

◆読み取りデータにバーコードリーダーで扱えない文字が含まれている場合、その文字はスペース（空白）に変換されます。
◆読み取ったデータのタイトルは以下のようになります。
- タイトル：yyyymmdd_hhmm_xxxx（年月日_時刻_4桁の数字）
  同じ時刻で複数保存したときは、4桁の数字が登録した順に増えます。

サブメニュー

❖読み取りデーター覧画面（P.412）

タイトル編集…タイトルを編集します。

結果表示…読み取りデータ詳細画面を表示します。

1件削除、全削除…読み取りデータを削除します。

サブメニュー

❖読み取りデータ詳細画面（P.412）

登録…読み取りデータを登録します。

一覧表示…読み取りデーター覧画面を表示します。
表示しているデータが未登録の場合、データを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

Internet…URLを反転している場合、そのURLのサイトに接続します。「Web To機能」→P.214

メール作成…「メール作成」を反転している場合、読み取りデータが入力されたｉモードメールを作成します。→P.150
メールアドレスを反転している場合、そのメールアドレスが宛先に入力されたｉモードメールを作成します。

電話発信…電話番号を反転している場合、その電話番号に電話をかけます。
「Phone To／AV Phone To機能」→P.214

電話帳登録…「電話帳登録」を反転している場合、読み取りデータを電話帳に登録します。→P.91
電話番号を反転している場合、その電話番号を電話帳に登録します。メールアドレスを反転している場合、そのメールアドレスを電話帳に登録します。

Bookmark登録…「Bookmark登録」を反転している場合、読み取りデータをBookmarkに登録します。→P.204
URLを反転している場合、そのURLをBookmarkに登録します。

画像保存…画像をデータBOXのマイピクチャに保存します。
待受画面などに設定する場合は、フォルダを選択したあとに「YES」を選択します。

メロディ保存…メロディをデータBOXのメロディに保存します。
着信音などに設定する場合は、フォルダを選択したあとに「YES」を選択します。

トルカ保存…トルカをおサイフケータイのトルカに保存します。

ｉアプリ起動…「ｉアプリ起動」を反転している場合、読み取りデータで指定されているｉアプリを起動します。→P.299

コピー…読み取った文字をコピーし、文字入力（編集）画面などに貼り付けることができます。→P.435

おしらせ

<Internet><Bookmark登録>

◆URLに使用できない文字が含まれている場合、Web To機能の利用やBookmark登録はできません。

<メール作成>

◆宛先に入力できない文字が含まれている場合、宛先には何も入力されません。

<電話発信>

◆テレビ電話画像の設定は発信や通話が終了しても保持されませんので発信ごとに設定してください。

通話時間・料金を確認する

通話時間・料金

音声通話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認します。

●確認できる内容は以下のとおりです。

項目	表示内容
通話時間	直前の通話時間を表示
通話料金	直前の通話料金を表示（音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信別）※1
積算時間	前回リセット時からの積算通話時間を表示（音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信別）※2
積算通話料金	前回リセット時からの積算通話料金を表示（音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の合計）
前回積算時間リセット日時	前回の積算時間リセット日時を表示
前回積算料金リセット日時	前回の積算料金リセット日時を表示

※1 音声電話は「音声通話」、テレビ電話は「デジタル呼（AV呼）」、64Kデータ通信は「デジタル呼（非制限デジタル）」に表示されます。

※2 音声電話は「音声通話」、テレビ電話は「デジタル呼（AV呼）」、64Kデータ通信は「デジタル呼（非制限デジタル）」に表示されます。

●音声電話とテレビ電話の通話を切り替えた場合、通話時間には音声電話とテレビ電話の合計の通話時間が表示され、通話料金には音声電話とテレビ電話の通話料金が個別に表示されます。なお、表示される通話料金は実際の通話料金と異なる場合があります。

●通話時間は、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。

●通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「￥0」または「￥＊＊」が表示されます。

●通話料金はドコモUIMカードに蓄積されるため、ドコモUIMカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算開始）が積算通話料金に表示されます。

●表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。

●表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間、料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

●2in1をご契約いただいている場合、積算時間と積算通話料金にはAナンバーとBナンバーの合計が表示されます。

1 MENU▶「電話機能」▶「通話時間・料金」▶「通話時間・料金」

おしらせ

◆前回および積算の音声電話通話時間やデジタル通信通話時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントします。

◆ｉモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金、着もじの送信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

◆着信中や相手を呼び出している時間、音声電話とテレビ電話を切り替えている時間はカウントされません。

◆着信を受けたり電源を入れ直したりすると、通話料金の表示は「￥＊＊」になります。また、電源を入れ直すと通話時間の表示は「0秒」になります。

◆電源を切っても、積算時間、積算料金の情報は残ります。

◆WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。

積算通話時間と積算通話料金をリセットする

積算リセット

「通話時間／料金」に表示される通話の積算時間および積算料金をゼロに戻します。

1 MENU▶「電話機能」▶「通話時間・料金」▶「積算リセット」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

積算時間リセット…積算時間をリセットします。

積算料金リセット…PIN2コードを入力して積算通話料金をリセットします。
PIN2コードについてはP.126を参照してください。

積算通話料金の自動リセットを設定する

積算料金自動リセット

毎月1日の0:00になると、「通話時間／料金」に表示される積算通話料金が自動的にゼロに戻るように設定します。

1 MENU▶「電話機能」▶「通話時間・料金」▶「積算料金自動リセット」▶端末暗証番号を入力

2「自動リセット設定」▶「ON」▶PIN2コードを入力

PIN2コードについてはP.126を参照してください。

■ 設定しない場合
▶「OFF」

おしらせ

◆積算料金自動リセットを「ON」に設定し、「メイン時計設定」で月を変更すると積算通話料金はリセットされます。
◆次の場合、積算料金自動リセットは「OFF」に設定されます。
- ドコモUIMカードを未挿入の状態で電源を入れたとき
- FOMA端末の電源を入れたときに表示されるPIN2コード入力画面でCLRを押したとき
- PIN2コードがロック中のとき→P.127
- ドコモUIMカードに異常があるとき

通話料金の上限を設定して知らせる

通話料金通知

「通話時間／料金」で表示される積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると待受画面やアラームなどでお知らせします。

- アラーム通知は、積算通話料金が設定した上限料金を超えたときに一度だけ行います。
- 上限料金を超えても通常どおり電話をかけることができます。

1 MENU▶「電話機能」▶「通話時間・料金」▶「通話料金通知」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

上限料金の設定…10～100,000円の範囲で10円単位で上限の料金を設定します。

通知設定…通話料金通知についての設定を行います。

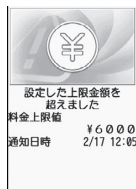
- **上限値通知設定**…通話料金通知を行うかどうかを設定します。
- **アラーム音選択**…アラーム音を選択します。
- **アラーム音量**…でアラーム音量を設定します。

2 [完了]

おしらせ

◆ｉモード通信、パケット通信の通信料金、着もじの送信料金は本機能の対象外です。ｉモード利用料などの確認方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

● アラーム通知の動作

通話終了後、積算通話料金が設定した上限料金を超えると次のような動作で通知します。

■上限値通知設定を「通知する」、アラーム音選択を「OFF」以外に設定している場合

積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると、通話を終了して3秒後にアラーム音が約5分間鳴り、上限料金を超えたことを通知する画面が表示されます。アラーム音を止めるにはいずれかのボタンを押します。通知動作終了後、CLRまたは━を押すと、待受画面に「¥ 上限（通話料金通知）」のデスクトップアイコンが表示されます。

■上限値通知設定を「通知する」、アラーム音選択を「OFF」に設定している場合

積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると、待受画面に「¥ 上限（通話料金通知）」のデスクトップアイコンが表示されます。

●「¥ 上限（通話料金通知）」の内容を確認する

待受画面に表示された「¥ 上限（通話料金通知）」のデスクトップアイコンを選択して、通話料金通知の内容を確認します。

1 待受画面表示中▶■▶「¥ 上限（通話料金通知）」を選択▶端末暗証番号を入力

「通話料金通知」の内容が表示されます。

2 内容を確認▶■［確認］

待受画面に戻り、「¥ 上限（通話料金通知）」が消えます。

電卓として使う

電卓

FOMA端末で四則演算（＋、－、×、÷）を行います。

- 数字は10桁まで表示できます。また、小数点以下は9桁まで表示できます。
- 計算結果が10桁を超えた場合は、「.E」と表示されます。

1 MENU▶「便利ツール」▶「電卓」

■ 機能をデスクトップに貼り付ける場合

▶MENU［サブメニュー］▶「デスクトップ貼付」

2 計算する

■「23＋57」を計算する場合

2	3	＋	5	7	＝
2	3	▢	5	7	■

■ 負の数を計算する場合

先頭の数字に「－」を付けた場合のみ、負の数の計算ができます。

－	2	3	＋	5	7	＝
▢	2	3	▢	5	7	■

おしらせ

◆CLR（AC）は、計算を最初からやり直すときに使います。また、数字や小数点の入力中はCの表示となり、CLRを押して間違えた数字や小数点を消去することができます。

メモを利用する

メモ

メモを作成、表示することができます。メモを作成する際にはタイトル、詳細以外にもカテゴリアイコンを設定したり、シールを登録してメモをデコレートしたり、画像を登録したり、メールに添付やスケジュールに表示するなど様々な用途に使うことができます。また、共有設定を使うと、相手を設定してメモを共有することもできます。

メモを作成する

スケジュールやメールなどさまざまな機能からメモを作成できます。

- メモはスケジュールやフォトメモなど他機能から作成されるものを含め、最大2,500件作成することができます（添付ファイルなどのデータ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

1 MENU▶「便利ツール」▶「メモ」

2 📷［新規］

メモ編集画面

■ メモを編集する場合

▶編集するメモを選択▶▢［編集］

■ スケジュールから作成する場合

▶スケジュール画面（P.398）▶日付を選択▶MENU［サブメニュー］▶「新規登録」

■ 静止画撮影確認画面から作成する場合※

▶静止画撮影確認画面（P.237）▶MENU［サブメニュー］▶「機能利用」▶「メモ作成」

■ マイピクチャ画面から作成する場合※

▶マイピクチャ画面（P.333）▶MENU［サブメニュー］▶「メモ作成」

※ サイズがVGA縦（480×640または640×480）より大きいときには、「そのまま添付」「サイズ中（VGA）」「キャンセル」から選択することができます。

3 以下の項目を入力

カテゴリアイコン…メモのカテゴリアイコンを選択します。選択すると自動で件名編集画面になります。

件名…メモのタイトルを入力します。

詳細…メモの内容を入力します。

シール…絵文字やデコメ絵文字®をシールとして登録します。登録したシールはスケジュール画面やメモ画面などでアニメーションで再生します。

ラベルカラー…ラベルの色を選択します。

文字カラー…メモ一覧画面やスケジュール画面などで表示されるタイトルの色を選択します。

ToDo…ToDoを設定すると予定の管理ができます。日時を設定したメモはスケジュールでも表示されます。

- **設定**…「あり」「なし」から選択します。
  「なし」を選ぶとToDo機能は無効になります。
- **期限**…用件の期日を設定します。
- **状態**…用件の状態を「完了、未完了、予定、承諾、依頼、暫定、確認、拒否、代理」から選択します。「完了」を選択した場合は、完了日を設定します。
- **完了日**…用件の完了日を設定します。
- **優先順位**…用件の優先度を「なし」「高」「低」から選択します。

いつ？…用件の日時を設定します。日時を設定したメモはスケジュールにも表示されます。

- **開始日時**…開始日時を設定します。
- **終了日時**…終了日時を設定します。開始日時を設定しない場合は入力できません。
- **繰り返し**…スケジュールの繰り返しを「なし、毎日、毎週（曜日指定）、毎月、毎年」から選択します。

どこで？…場所を入力します。

だれと？…だれと予定を行うかを設定します。
「電話帳検索、メール送信履歴、メール受信履歴、メモ共有履歴、直接入力」から選択します。

共有設定※…メンバーを指定して、作成したメモを共有することができます。

添付…メモに画像とメールを関連付けることができます。

- **添付するフォト**…「カメラ撮影して添付、データBOXから添付、microSDから添付」から選択します。
- **関連するメール**…「受信BOX、送信BOX、未送信メール」から選択します。

アラーム・リマインド設定…指定したタイミングにｉコンシェルやアラームで通知するように設定することができます。

- **アラーム設定**…「利用する、利用しない」を選択します。
- **場所でリマインド設定**※…通知してほしい場所、内容を登録すると、その場所に近づいたときに通知するように設定します。
  オートGPSが「OFF」の場合は、利用できません。
- **メールでリマインド設定**※…登録したアドレスからメールが届いた際に、メール表示画面から検索できるように設定します。

※ ｉコンシェルに契約していない場合は利用できません。

4 [カメラ]［完了］

おしらせ

◆「いつ？」「どこで？」「だれと？」を入力するとき、入力候補のヒントが表示されます。ヒントを選択するとヒントの表示内容が入力され、簡単にメモの作成ができます。

メモを閲覧する

スケジュールなどで作成したメモを一覧で表示することができます。

1 [MENU]▶「便利ツール」▶「メモ」

メモ一覧画面（サブメニュー→P.417）

一覧表示では選択したメモの登録内容や設定内容が表示されます。
[切替]で表示内容を切り替えることができます。

■ **メモをフィルタリングして表示する場合**

画面上部のプルダウンで、表示されるメモをフィルタリングすることができます。

2 メモを選択

メモ詳細画面（サブメニュー→P.417）

おしらせ

◆メモが1件も登録されていない場合、メモの説明を表示します。

サブメニュー

❖メモ一覧画面（P.416）

❖メモ詳細画面（P.416）

新規登録…P.415

編集…選択したメモの登録内容や設定内容を編集します。

コピー…選択したメモをコピーし、編集します。

スケジュール…スケジュール画面を表示します。

iコンシェルメニュー表示…P.226

お預かりセンターに接続…P.144

クイック検索…P.202

シール表示設定…メモに設定されたシールを表示するかを選択します。

画像保存…メモに添付されているシールおよび、静止画をデータBOXに保存します。

優先表示設定…「ON」「OFF」から選択します。

「ON」に設定したメモにはメモ一覧画面でクリップのアイコンが表示され、一覧の前部に優先的に表示されます。

検索…メモ一覧に、相手の名前やアイコン、文字色など、指定した条件に合うメモ、スケジュールのみを表示します。

表示条件選択…メモをフィルタリングする条件を選択します。

表示条件解除…メモのフィルタリングを解除します。

シークレット解除…P.131

メール作成…メモの内容が挿入されたiモードメールを作成します。→P.150

メール添付…メモを添付したメールを作成します。

デスクトップ貼付…デスクトップに貼り付けると、デスクトップから選択したときに、メモ一覧画面が表示されます。→P.121

iC送信、iC全送信…P.379

赤外線送信、赤外線全送信…P.378

Bluetooth送信、Bluetooth全送信…P.380

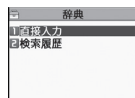
microSDへコピー…P.366

削除…1件削除／選択削除／全削除／期限削除から選択します。

辞典を利用する

辞典

辞典を起動して単語の意味を調べることができます。調べたい単語にあわせて、英和辞典･和英辞典･国語辞典を選択できます。
辞典は、各種文字編集画面のサブメニューや使いかたガイドからも利用できます。→P.418

1 MENU▶「便利ツール」▶「辞典」

辞典画面

■ 機能をデスクトップに貼り付ける場合

▶MENU［サブメニュー］▶「デスクトップ貼付」

2 以下の項目から選択

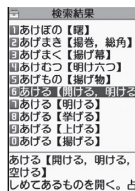
直接入力…単語を入力します。

検索履歴…以前検索した単語の履歴から検索します。

検索履歴を使う→P.418

3 辞典の種類を選択

該当する単語がない場合は、入力した文字に近い単語にカーソルがあたって表示されます。

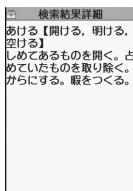
検索結果
1あけぼの【曙】
2あげまき【揚巻，総角】
3あげまく【揚げ幕】
4あけむつ【明け六つ】
5あげもの【揚げ物】
6あける【開ける，明ける
7あける【明ける】
8あげる【挙げる】
9あげる【上げる】
0あげる【揚げる】
あける【開ける，明ける，空ける】
しめてあるものを開く。占

検索結果画面（一覧）（サブメニュー→P.418）

■ 前後の一覧を表示する場合

▶検索結果画面（一覧）▶

4 単語を選択

■ 前後の単語を表示する場合

▶検索結果画面（詳細）▶

検索結果画面（詳細）（サブメニュー→P.418）

サブメニュー

❖検索結果画面（一覧）（P.417）

❖検索結果画面（詳細）（P.418）

ウィンドウ切替※…検索結果と文字編集の画面を切り替えます（切り替えができる場合のみ利用できます）。

コピー…文字をコピーします。

一覧画面：和英辞典と国語辞典は検索結果の【 】内の文字を、英和辞典は検索結果の単語をコピー

詳細画面：範囲の始点と終点を指定してコピー

コピーした文字は、入力画面などで貼り付けることができます。→P.435

結果詳細から検索※…検索結果から、さらに検索します。

▶ で検索する文字のはじめの位置で［始点］▶ で文字の終わりの位置まで反転し［終点］▶辞典の種類を選択▶単語を選択

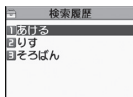
別の辞典で検索…検索した単語を別の辞典で再検索します。

参照編集※…検索結果を見ながら文字編集をすることができます（文字入力（編集）画面から起動した場合のみ操作できます）。

「分割画面について」→P.429

※ 検索結果画面（詳細）でのみ利用できる機能です。

検索履歴を使う

1 辞典画面（P.417）▶「検索履歴」

検索履歴画面（サブメニュー→P.418）

2 単語を選択

サブメニュー

❖検索履歴画面（P.418）

1件削除、全削除…以前検索した単語の履歴を削除します。

その他の機能から辞典を利用する

辞典は、以下の画面からも起動することができます。

- 送信メール詳細画面のサブメニュー
- 「メモ」などの文字編集画面のサブメニュー
- 「クイック検索」の検索方法選択から「辞典検索」を選択

これらの画面から辞典を起動させた場合、検索単語を入力するのに、「直接入力」「範囲選択」「検索履歴」を選択することができます。

「クイック検索」では「音声入力」も選択できます。

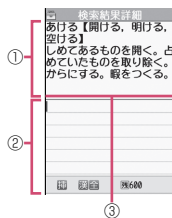
■文字編集画面から辞典を起動した場合

検索結果詳細画面のサブメニューから「参照編集」を選択することができます。

「参照編集」を選択すると、検索結果の詳細を見ながら文字編集画面で文字を入力することができます。

● 辞典の参照画面について

サブメニューから「参照編集」を選択すると、上下2つに画面が分割されます。

サブメニューから「ウィンドウ切替」を選択するごとに操作できる画面が①と②で切り替わります。

① 辞典の詳細画面
② 文字編集画面
③ 区切り線

辞典を終了するときは、①の画面で ［終了］を押すか、②の画面でサブメニューから「辞典終了」を選択してください。

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

スイッチ付イヤホンマイク

ステレオイヤホンマイク 01（別売）を使って電話をかけたり、受けたりします。
- 平型ステレオイヤホンセット P01と外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01を接続しても、電話をかけたり受けたりすることができます。
- 「ボタン確認音」の設定にかかわらず、電話を受けたり電話を切ったりしたときのスイッチ音は鳴ります。
- ステレオイヤホンマイク 01のコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。また、通話中にステレオイヤホンマイク 01のコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。
- FOMA端末を閉じた状態でも電話をかけたり受けたりすることができます。

イヤホンマイクのスイッチ動作を設定する

イヤホンスイッチ発信設定

設定した相手に、スイッチを1秒以上押すだけで音声電話をかけるように設定します。
- 本機能には、FOMA端末の電話帳に登録されている電話番号を設定します。

1 MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「イヤホン機能設定」▶「イヤホンスイッチ発信設定」▶以下の項目から選択

音声発信…電話帳に登録されている電話番号を選択します。

電話帳の検索のしかた→P.93

OFF…発信設定をしません。

おしらせ

◆ドコモUIMカードの電話帳は設定できません。

◆本機能に設定した電話番号が2in1の設定により利用できない場合は、ステレオイヤホンマイク 01などのスイッチを使った発信ができなくなります。

イヤホンマイクをつないだときに使うマイクを選ぶ

イヤホンマイク

ステレオイヤホンマイク 01を接続しているときに使うマイクを、FOMA端末側のマイクにするか、イヤホンマイク側のマイクにするかを設定します。

1 MENU▶「本体設定」▶「外部接続」▶「イヤホンマイク」▶「本体マイク」または「イヤホンマイク」

マイクのないイヤホンを接続する場合は、「本体マイク」を選択してください。

おしらせ

◆「イヤホンマイク」を「本体マイク」に設定するとハンズフリーをONに設定した場合と同じマイク感度になります。イヤホンマイクを接続した場合、送話口に近づけて通話する必要はありません。

スイッチを使って電話をかける

1 電話番号をダイヤル▶スイッチを1秒以上押す

電話帳、リダイヤル／発信履歴、着信履歴からかけることもできます。

■ 電話番号をダイヤルしない場合

「イヤホンスイッチ発信設定」で設定した電話番号に電話がかかります。

2 通話が終了したら、スイッチを1秒以上押す

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

スイッチを使って電話を受ける

1 着信中▶スイッチを押す

「ピッ」という音が鳴り、電話を受けます。

2 通話が終了したら、スイッチを1秒以上押す

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

おしらせ

◆「キャッチホン」をご契約の場合は、通話中にかかってきた電話にステレオイヤホンマイク 01（別売）のスイッチを押して出ることができます。また、スイッチを1秒以上押して通話中の電話を切り替えることができます。ただし、スイッチを押して通話を終わらせることはできません。

◆ステレオイヤホンマイク 01のスイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。

イヤホンマイクをつないで自動で電話を受ける

オート着信設定

ステレオイヤホンマイク 01を接続しているとき、スイッチを押さなくてもかかってきた音声電話やテレビ電話を自動で受けるようにそれぞれ設定します。
- 音声通話中、テレビ電話中は、本機能によって自動で電話を受けることはできません。
- FOMA端末を閉じた状態でも自動で受けることができます。

1 MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「着信詳細設定」▶「オート着信設定」▶「音声着信」または「テレビ電話」

2 「オート着信あり」▶呼出時間（001～120秒の3桁）を入力

■ 無効にする場合
▶「オート着信なし」

おしらせ

◆ステレオイヤホンマイク 01を着信中に接続しても、オート着信は動作しませんが、着信中に接続を外すとオート着信は動作します。

Bluetoothを利用する

Bluetooth

Bluetooth機器どうしをワイヤレスで接続できます。たとえばFOMA端末とワイヤレスイヤホンセット02（別売）をBluetooth通信で接続すると、FOMA端末をかばんなどに入れたまま通話をしたり音楽を聴いたりできます。
- Bluetooth接続を使用すると電池の消費量が多くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- セルフモード設定中はBluetooth機能を利用できません。

Bluetoothでできること

FOMA端末では、ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービス、オーディオサービス、ダイヤルアップ通信サービス、オブジェクトプッシュサービス、シリアルポートサービスの6つのサービスを利用できます。また、オーディオサービスではオーディオ／ビデオリモートコントロールサービスも利用できる場合があります（対応しているBluetooth機器のみ）。

対応バージョン
Bluetooth標準規格Ver.2.0+EDR準拠※

※ FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

対応プロファイル※1（対応サービス）
HSP：Headset Profile（ヘッドセットプロファイル）
HFP：Hands-Free Profile（ハンズフリープロファイル）
A2DP：Advanced Audio Distribution Profile（アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル）
AVRCP※2：Audio/Video Remote Control Profile（オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル）
DUN：Dial-up Networking Profile（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）
OPP：Object Push Profile（オブジェクトプッシュプロファイル）
SPP：Serial Port Profile（シリアルポートプロファイル）

※1 Bluetooth機能の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
※2 A2DPにも対応している場合のみ有効で、AVRCP単独のプロファイルには対応していません。

■ヘッドセットで通話する（ヘッドセットサービス）
ワイヤレスイヤホンセット 02（別売）やBluetoothヘッドセット（市販品）とFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、ワイヤレスで通話できます。

■ハンズフリーで通話する（ハンズフリーサービス）
カーナビなどのBluetooth通信対応機器（市販品）とFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、カーナビなどのマイクとスピーカを利用してハンズフリーで通話できます。

■オーディオ機器で再生する（オーディオサービス）
ワイヤレスイヤホンセット P01／02（別売）やBluetooth通信対応オーディオ機器（市販品）とFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、高音質なステレオサウンドをワイヤレスで再生できます。
- ワンセグやビデオの音声に関しては対応する機器が制限されます。→P.425
- Bluetooth機器とオーディオサービス接続中にｉアプリからBluetooth通信を行うと、オーディオサービスが切断されます。

■ワイヤレスで通信する（ダイヤルアップ通信サービス）
Bluetooth通信対応パソコンなどとFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、FOMA端末をモデム代わりにしてパケット通信や64Kデータ通信を行えます。
- 詳細については、付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。

■Bluetooth通信でデータを送受信する（オブジェクトプッシュサービス）
Bluetooth機器とFOMA端末をBluetooth通信で接続して、電話帳、スケジュール、メモ、メール、Bookmark、プロフィールをやりとりできます。→P.380

■ｉアプリからBluetooth通信を利用する（シリアルポートサービス）
Bluetooth通信を利用して他の携帯電話やBluetooth通信対応機器と接続することにより、ｉアプリで対戦ゲームをしたり、データを管理したりできます。

■Bluetooth機器から出力される音
お使いのBluetooth機器によっては、下記の動作にならない場合があります。

出力される音	接続サービス		
	HSP	HFP	A2DP
音声電話発信音	○	○	×
音声電話／テレビ電話着信音	○ ※1※2	○※2	×
音声電話／テレビ電話時の呼び出し音	○	○	×
音声電話／テレビ電話時の相手の音声	○	○	×
音声電話時の相手の伝言メモの音声	○	○	×
ワンセグの音声	×	×	○
ｉアプリの音声	×	×	○
ビデオ再生音	×	×	○
ミュージックプレーヤー再生音	×	×	○
アラーム通知音	○※3	○※3	×
メール着信音	×	×	×

○：Bluetooth機器から出力されます。
×：Bluetooth機器からは出力されずFOMA端末から鳴ります。
※1「イヤホン切替設定」を「イヤホンとスピーカー」に設定している場合は、Bluetooth機器、FOMA端末の両方から鳴ります。
※2「着信音送出設定」を「送らない」に設定している場合は、Bluetooth機器からは設定中の着信音とは異なる音が鳴ります。
※3 通話中のみBluetooth機器から鳴ります。Bluetooth機器から鳴る音はアラーム音に設定した音ではなく時刻アラーム音が鳴ります。

おしらせ
◆Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

■良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。FOMA端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
- 他の機器（電気製品／AV機器／OA機器など）からなるべく離して接続してください(電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください)。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります)。
- 放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器とFOMA端末の間に身体を挟むと通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

■無線LANとの電波干渉について
Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。また、ストリーミングデータ再生時などで通信が途切れたり音声が乱れることがあります。この場合、次の対策を行ってください。
- ●FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
- ●10m 以内で使用する場合は、無線 LAN の電源を切ってください。

■Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。
場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
- 電車内
- 航空機内
- 病院内
- 自動ドアや火災報知機から近い場所
- ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Bluetooth利用の流れ

Bluetooth機能を利用するには、あらかじめFOMA端末にBluetooth機器を登録し、各機能に対応したサービスで接続する必要があります。
<例：ワイヤレスイヤホンセット 02（別売）と接続する場合>

Bluetooth機器の登録（P.422）
ワイヤレスイヤホンセット02をFOMA端末に登録します。

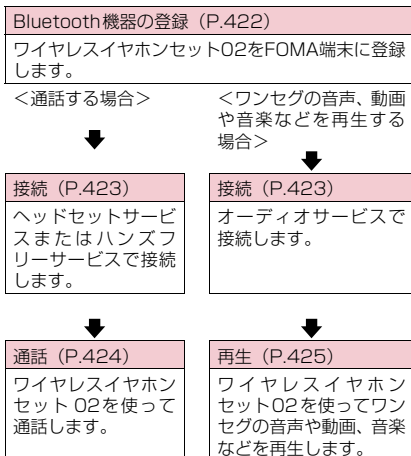
<通話する場合>

接続（P.423）
ヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスで接続します。

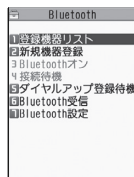
通話（P.424）
ワイヤレスイヤホンセット 02を使って通話します。

<ワンセグの音声、動画や音楽などを再生する場合>

接続（P.423）
オーディオサービスで接続します。

再生（P.425）
ワイヤレスイヤホンセット02を使ってワンセグの音声や動画、音楽などを再生します。

Bluetooth機器を登録する

Bluetooth機器をFOMA端末に登録します。
- ●Bluetooth機器は10件まで登録できます。
- ●登録したいBluetooth機器は、あらかじめ登録待機状態にしておきます。

1 MENU▶「便利ツール」▶「Bluetooth」

Bluetoothメニュー画面

2 「登録機器リスト」▶「YES」▶「OK」

Bluetooth機器の検索がはじまります。検索が終了すると、「登録機器リスト画面」（P.423）が表示されます。
「新規機器登録」からもBluetooth機器の検索を行うことができます。

■ すでにBluetooth機器が登録されている場合
「登録機器リスト画面」（P.423）が表示されますので、[カメラ]［サーチ］を押すとBluetooth機器の検索がはじまります。

3 登録したいBluetooth機器を選択▶「YES」

4 Bluetoothパスキーを入力

登録する機器がワイヤレスイヤホンセット 02（別売）の場合は、Bluetoothパスキーの入力は不要です。Bluetoothパスキーについては Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth機器と接続する

登録したBluetooth機器とFOMA端末を接続します。

1 Bluetoothメニュー画面(P.422)▶「登録機器リスト」

「登録機器リスト画面の見かた」→P.423

登録機器リスト画面(サブメニュー→P.424)

■ Bluetooth機器を検索する場合
▶[サーチ]
「Bluetooth機器を登録する」→P.422

2 Bluetooth機器を選択

接続中のサービスは「」、接続待機中のサービスは「」が表示されます。

3 サービスを選択

Bluetooth機器と接続されディスプレイに「(青色)」が点滅します。一定時間、Bluetooth機器との通信がないと、省電力状態となり「(黒色)」の点灯に変わります。
「ダイヤルアップ」を選択した場合は、接続履歴がある機器、「ダイヤルアップ登録待機」から登録した機器も含め、接続待機状態になります。複数のサービスで接続できるBluetooth機器の場合は、続けて別のサービスにも接続するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 接続中のサービスを停止する場合
▶接続中のサービスを選択▶「YES」

おしらせ

◆接続処理中や切断処理中に Bluetooth 機器の電源が切れたり、Bluetooth機器からの応答がない場合は、処理に時間がかかることがあります。
◆接続中にBluetooth機器から切断された場合、接続待機中になります。また、接続中にFOMA端末の電源を切った場合も、再度電源を入れたときに接続待機中になります。
◆以下の場合、オーディオサービスで接続中にBluetooth機器から出力される音が停止することがあります。このとき、Bluetooth機器によっては、接続が切断されることがあります。
- Bluetooth機器との接続が途切れたとき
- GPSの位置提供要求を受信したとき
- メールやメッセージR/Fを受信したとき
- 音声電話着信、テレビ電話着信があったとき
- 音声電話発信、テレビ電話発信を行ったとき
- アラーム通知(電池切れアラーム含む)があったとき

● 登録機器リスト画面の見かた

■機種種別アイコン

アイコン	説明
	パソコン
	電話
	AV機器
	ネットワーク機器
	周辺機器
	イメージング機器
	その他

■機器名称
Bluetooth機器の名称が表示されます。機器の検索時に名称を取得できなかった場合は、機器(Bluetooth)アドレスが表示されます。

■保護アイコン
登録機器が保護されている場合に「」が表示されます。

■接続状態アイコン

アイコン	説明
	接続中
	未接続
	未検出
NEW	未登録

■プロファイルの状態アイコン
プロファイルの種類と状態がアイコンで表示されます。

アイコン表示例	文字色	背景色	枠色	説明
HSP	白色	灰色	なし	未接続(未登録)
HSP	白色	緑色	白色	接続中
HSP	灰色	灰色	なし	未対応
HSP	白色	灰色	白色	接続待機中
HSP	白色	緑色	灰色	優先機器設定

アイコン表示例	文字色	背景色	枠色	説明
HSP	白色	灰色	灰色	未接続（登録済み）

サブメニュー

❖登録機器リスト画面（P.423）

機器登録…P.422
優先機器設定…音声電話やテレビ電話の着信時に、自動接続するBluetooth機器を設定します。設定できるのはヘッドセットサービスに対応しているBluetooth機器のみです。解除するには同様の操作を行います。
保護／解除、機器名称変更…登録機器の保護／解除、名称変更を行います。保護できるBluetooth機器は5件までです。
デスクトップ貼付…P.121
登録機器情報…Bluetooth機器の機器名称、Bluetoothアドレス、機器種別、対応プロファイルを表示します。
登録機器削除…登録機器を削除します。

おしらせ

◆よく使うBluetooth機器は、保護を設定しておくことをおすすめします。

<機器登録>
◆すでに登録済みの Bluetooth 機器を選択すると登録情報が更新されます。

Bluetooth機器を接続待機にする

登録しているすべてのBluetooth機器の接続待機状態を設定します。

1 Bluetoothメニュー画面（P.422）▶「接続待機」

2 ✥で□（チェックボックス）を選択▶📷［完了］
「□」（チェックを外した状態）に設定すると、そのサービスは接続待機を解除します。

FOMA端末のBluetooth機能を停止する

接続中や接続待機中のサービスをすべて停止し、FOMA端末のBluetooth機能を停止します。

1 Bluetoothメニュー画面（P.422）▶「Bluetoothオフ」▶「YES」
■ Bluetooth機能を有効にする場合
▶「Bluetoothオン」

パソコンとワイヤレス接続する

ダイヤルアップ登録待機

Bluetooth通信対応パソコンなどとFOMA端末をワイヤレスに接続して、パケット通信や64Kデータ通信を行います。

1 Bluetoothメニュー画面（P.422）▶「ダイヤルアップ登録待機」
これ以降の詳しい操作手順については、付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」（PDF形式）の「Bluetooth通信を準備する」をご覧ください。

Bluetooth機能を使って通話する

FOMA端末をBluetooth機器とヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続し、ワイヤレスで通話します。

1 Bluetooth機器とヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスで接続する
Bluetooth機器との接続について→P.423

2 Bluetooth機器で電話をかける／受ける
Bluetooth機器で通話中はディスプレイに「🎧」が表示されます。
Bluetooth 機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

おしらせ

◆ダイヤルロック／おまかせロック設定中は、Bluetooth機器での着信への応答ができません。
◆Bluetooth機器をヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続中に着信があった場合は、マナーモード設定中でもBluetooth機器から着信音が鳴ります。

◆Bluetooth機器で通話中は、FOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。
◆Bluetooth機器で通話中は「クローズ動作設定」の設定にかかわらず、FOMA端末を閉じても通話状態は変わりません。
◆初期設定では、Bluetooth機器で通話中または発信中にBluetooth通信が切断された場合は、通話または発信を終了します。
「Bluetooth設定」の「切断時通話設定」(P.426)を「本体で通話継続」に設定することにより、Bluetooth通信が切断された場合もFOMA端末での通話を継続させることができます。

● FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話するかを切り替えるには

1 通話中▶［ ］（1秒以上）
Bluetooth機器側からの操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

おしらせ
◆Bluetooth機器に切り替えても、ハンズフリー対応機器やイヤホンマイク（別売）を接続しているときは、Bluetooth機器で通話できない場合があります。
◆通話中画面、テレビ電話中画面のサブメニューからも通話を切り替えることができます。

Bluetooth機器を使って音楽・音声などを再生する

FOMA端末をBluetooth機器とオーディオサービスで接続すると、ミュージックプレーヤーの音楽やワンセグ・ビデオ・動画の音声などをBluetooth機器から出力できます。

1 Bluetooth機器とオーディオサービスで接続する
Bluetooth機器との接続について→P.423
オーディオサービスを接続待機している状態でBluetooth機器からオーディオサービスの接続を行った場合、ミュージックプレーヤーが自動で起動されます。ただし、待受画面以外を表示中や、他の機能が起動している場合、「ミュージックプレーヤー設定」の設定などによっては、自動で起動されないことがあります。

2 再生する
Bluetooth機器から音が出力されます。
Bluetooth機器で再生中はディスプレイに「 」が表示されます。

おしらせ
◆ｉアプリで対戦ゲームをするなどSPPを利用中は本機能は動作しません。
◆SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみワンセグやビデオの音声を再生できます。
◆ワンセグ・ビデオ・動画の音声や音楽などをBluetooth機器から再生中は、FOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。
◆Bluetooth機器とオーディオサービスで接続中に、Bluetooth機器から再生や一時停止の操作をすることで、ミュージックプレーヤーを起動することもできます（対応しているBluetooth機器のみ）。
◆ミュージックプレーヤーをバックグラウンド再生している場合でも、Bluetooth機器のリモコン操作は有効です。
◆ステレオイヤホン（別売）やイヤホンマイク（別売）を接続しているときは、Bluetooth機器で再生できません。
◆一度、Bluetooth機器をオーディオサービスで接続すると接続履歴として記憶されます。接続履歴がある場合は、オーディオサービスで接続しなくても、ワンセグを視聴する際やミュージックを再生する際に自動的にBluetooth機器と接続します。接続が成功するとBluetooth機器から音が出力され、接続に失敗するとFOMA端末から音を出力するかどうかの確認画面が表示されます。
◆動画やビデオ、音楽を再生中にBluetooth通信が切断された場合は、切断されたことを示すメッセージが表示されます。ただし、「ミュージックプレーヤー設定」の設定やFOMA端末の開閉状態などによっては、メッセージは表示されず、自動的にミュージックプレーヤーが終了する場合があります。

Bluetoothについて設定する

Bluetooth設定

1 Bluetoothメニュー画面（P.422）▶「Bluetooth設定」▶以下の項目から選択
セキュリティ設定…Bluetooth送信／Bluetooth受信時の認証の有無を設定します。
全件転送パスワード設定…Bluetooth全送信時に認証パスワードを入力するかどうかを設定します。
サーチ時間…Bluetooth通信対応機器を検索する時間（05～20秒）を設定します。
着信音送出設定…接続しているヘッドセット機器やハンズフリー機器に、音声電話やテレビ電話の着信音を送信するかどうかを設定します。

切断時通話設定…Bluetooth機器で通話中にBluetooth機器との接続が切断されたとき、FOMA端末で通話を継続するか、通話を終了するかを設定します。

ヘッドセット操作による発信…外部機器から電話をかけることができるかどうか設定します。

ミュージックプレーヤー設定…オーディオサービス対応Bluetooth機器からミュージックプレーヤーを自動起動させたり、オーディオサービスが切断された場合にミュージックプレーヤーを自動終了させるかどうかを設定します。

自局情報…FOMA端末に搭載しているBluetooth機能の機器名称、Bluetoothアドレス、機器種別、対応プロファイルを表示します。また、[カメラ]［編集］を押して機器名称の変更もできます。

おしらせ

<着信音送出設定>

◆ヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続中または接続待機中のBluetooth機器がある場合は設定できません。

<自局情報>

◆機器名称に絵文字を設定した場合、相手のBluetooth機器によっては正しく表示されない場合があります。

フェムトセルを利用する

ドコモが提供する「マイエリア」を利用できます。「マイエリア」は、ご自宅にフェムトセル小型基地局を設置し、ご自宅専用FOMAエリアを作ることで、安定した通話と通信がご利用いただけるサービスです。

- 「マイエリア」はお申し込みが必要な有料サービスです。
- 「マイエリア」の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

フェムトセルの設定を行う

フェムトセル利用設定

「フェムトセルサーチ」「フェムトセル優先在圏設定」を有効にするかどうかを設定します。

1 待受画面表示中▶[6]（1秒以上）▶「フェムトセル利用設定」▶「ON」

■ フェムトセルを優先的に使う場合

▶「フェムトセル優先在圏設定」▶「ON」

通常の通信とフェムトセルを使った通信の両方が可能な場合、フェムトセルの電波が弱いときに、フェムトセルを使った通信を利用するか（ON）、通常の通信を利用するか（OFF）を設定します。

2 [カメラ]［完了］

おしらせ

◆フェムトセルエリア圏内では「[アイコン]」（フェムトセル利用可能）が表示されます。

◆フェムトセルを利用して音声電話／テレビ電話を発信した場合は、発信中／呼出中／通話中の画面に「フェムトセル××中」と表示されます。

フェムトセルを検索する

フェムトセルサーチ

フェムトセルを利用するとき、手動でフェムトセルエリアを検索して在圏に切り替えます。

- 「フェムトセル利用設定」が「ON」の場合に利用できます。

1 待受画面表示中▶[6]（1秒以上）▶「フェムトセルサーチ」

フェムトセルエリアの検索が開始されます。検索が終了すると、フェムトセルエリアの在圏／圏外をお知らせするメッセージが表示されます。